

キャラクター名	プレイヤー名
高辻 加奈枝	

シンドローム	オルクス ブラックドッグ		ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	17	性別	女性
覚醒	忘却	衝動	自傷	初期侵食率	33	%
出自	政治権力	経験	大勝利	邂逅	借り(ヨハン・C・コードウエル)	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	2	0	0			2	行動値	7
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	7
精神	2	1	0			3	戦闘移動	12
社会	2	0	0			2	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	4		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
招来・火雷火気毒王	RC	3r+13		18		雨粒の矢+降魔の雷+アクティベイト(11)
尋龍点穴		0				力の法則。龍脈を反閉で調律して特定の相手に流し込む
鬼門封じ		0				妖精の手。凶運を無理矢理幸運に捻じ曲げる

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
要人への貸し		ロイス			
情報収集チーム		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス消費
白澤図(ミーミルの覚書)		変異種<ブラックドッグ>	P	N	
応急キット		ヨハン・C・コードウエル	P 庇護	N 不安	
携帯電話(iphone)		"闘心(グレイハーク)" 灰験護(かいんしよ)	P 執着	N 憤懣	
		トウリ・クサントス	P 誠意	N 疎外感	
		アイアンサイト	P 庇護	N 憐憫	
		暁九零	P 同情	N 悔悟	
		十香かさね	P 幸福感	N 劣等感	
		最大財産P:	8	残り財産P:	2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
雨粒の矢	4	3	メジャー	視界	シーン選択	RC		
効果:	攻撃力LV*2							
降魔の雷	3	4	メジャー	視界	-	RC		
効果:	攻撃力LV*4 ドッジ判定-2d シナリオ3回							
アクティベイト	3	4	マイナー		自身	自動		
効果:	LV*3まで任意HPを固定値に変換							
妖精の手	3	4	オート	視界	単体	自動		
効果:	判定ダイス1個を10に シナリオLV回							
力の法則	3	4	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果:	LV+1Dダメージロール追加 ラウンド1							
加速装置	2	2	セットアップ		自身	自動		
効果:	行動値LV×4							
不可視の領域	1							
効果:	遁甲の術							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「むむ、非行少年発見！ そのあなた、止まりなさい！」
「どうしてこう、自分の価値を下に見る人が多いのかな……人間なんてまず生きる、それぐらいでいいじゃないですか」

一人称「私」二人称「あなた」敬語口調と柔らかい口調。
委員長タイプの女の子。
基本方針は世話焼きお節介焼き。情を棄てて対することもあるが、基本的に詰めが甘い。
シンプルにUGNの常識と、一般社会の良識を兼ね備えた、早い話がいい人。
しかし、UGNチルドレンとして教育されてきたため、自身の身を一身いくらと容易く投げ出して任務に当たる危うさを兼ね備えている。本人は自願願望がある訳でない自傷衝動によるものだが、死ななげや安いと自負しているが故に全く懲りることがない。
運やらツキやら縁起やら、ちょこちょこ古臭い蘊蓄に詳しくたりするのは家柄と能力の由縁から。

かつて裏天神なる反朝廷呪詛師組織を築いた盟主・菅原道真公の嫡流の末にあたる。既にその家名の意味合いは廃れており、現在では専ら政治家を輩出する名家となり古い信仰を修めるものは少ない。
その生まれ故か、加奈枝は自らの内に平安の裏世界を支配したブラックドッグ・シンドロームが隔世遺伝した。現在では殆ど失伝している、中世の変異種(レアモノ)である。
生まれついて希少な能力を有していたが、それはあくまで人として優れた性能を求めていた宗家には不要なものだ。伝承を保管する役割を選んだ分家筋と異なり、政治分野で家名を上げた彼らにとっては邪魔でしかなく、当時の高辻当主の判断により分家筋への引き渡しを拒絶し勃興したてのUGN日本支部へ人質同然に差し出された。

彼女は確かな能力から支部内でめきめきと成長し、やり手のエージェントとして頭角を現すに至る。
彼女自身、両親について思う所はあるのだが、『自分の居場所をくれた』『人外魔境の政治家や、古い信仰を保存するのみの神職に就くよりはマシな人生』と肯定的に捉えている……と自分で思っている。